

日本語教室部会の「世界を知ろう」サポートプランが 鷺っ子まつりに参加しました

西脇千博(日本語教室部会)

Olá amigos!

11月18日(土)に鷺沼小学校で鷺っ子まつりが開催され、日本語教室部会が「世界を知ろう」サポートプランの行事で参加しました。6か国15名の日本語学習者・地域にお住いの外国の方の参加がありました。4年ぶりの開催ということもあってか大盛況の1日となりました。国ごとのブースには常に訪問者があって、子どもたちは300名、おとなは50名を超えたということで、教室が狭く感じられたほどでした。



子どもたちは、アイルランドの楽器フィドルの演奏を聴くだけでなく、ちょっと緊張してフィドルを

実際に触って音を出して楽しんだり、陽気なダンスにあわせて手拍子をしてリラックスしたり、ペルー、中国、韓国、アイルランド、フィリピン、ドミニカ共和国など、各国の挨拶などの言葉を教えてもらいました。中国の小学校1年生の教科書が漢字ばかりで

驚いたり、ロシアの民芸品(人形)マトリョーシカを触って、並べて、感



心するなど、それぞれに楽しんでいたようです。各国のブースで学習者のサインと国旗シールをもらったあと、最後に出口で景品のあめをもらっていました。

誤解を恐れずに申しますと、この日本語教室部会の参加が、なにか「とても特別なことをしている」とは思えない雰囲気でした。真の国際交流とは、「特別ではない」と思うくらいまでに、お互いを理解できることだとも思いますので、とても有意義な一日だったと思いました。



最後に、私は今回日本語教室部会として初めての参加で、かつ準備段階ではほとんど関

与できませんでした。その点では皆様にご迷惑をおかけしたのですが、そのような場合でも無理なく、参加できるような体制になっていたことも大変ありがたくて良いなと感じました。谢谢，再见！



終了後、参加者やボランティアと記念写真